

同時発表：国土交通省 港湾局 海洋・環境課

令和4年3月15日14時00分  
資料配布 近畿地方整備局

## 神戸港におけるブルーカーボンによるCO<sub>2</sub>削減について Jブルークレジット証書交付式が開催されます ～兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり～

国土交通省では、脱炭素社会の実現に向けて、港湾における「カーボンニュートラルポート(CNP)」の形成に取り組んでおり、その一環として、CO<sub>2</sub>吸収源であるブルーカーボンを活用した港湾・沿岸域における環境価値の創出に関する検討を進めています。

この度、神戸港の兵庫運河における藻場や干潟の保全活動により創出されたブルーカーボンについて、吸収したCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットとして「Jブルークレジット」が発行・取引されることとなり、「Jブルークレジット証書交付式」が開催されますのでご案内します。

沿岸域の藻場等に生息する海洋植物にCO<sub>2</sub>として取り込まれた炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、国連環境計画の報告書(2009年)において、CO<sub>2</sub>吸収源の新たな選択肢として提示されています。

ブルーカーボン生態系の活用を図るためには、SDGs等に取り組む企業からの関心呼び込み、NPO・市民団体等による藻場の保全活動(例：アマモの移植)等を支援する新たな資金メカニズムの構築が必要であり、現在、ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度<sup>注1</sup>の構築に向けた試行を行っています。

今般、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合(JBE)を通じて、神戸港におけるプロジェクト「兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり」でアマモなどにより創出したCO<sub>2</sub>吸収量について、第三者委員会による審査・検証を経て、企業等との間でクレジット取引されることとなり、JBE主催のJブルークレジット<sup>注2</sup>証書交付式が下記のとおり開催されます。

「Jブルークレジット」の認証対象となった取組は西日本で初めてとなります。  
(横浜港、徳山下松港、北九州港における取組も同日に証書交付されます。)

なお、証書交付式の詳細については、国土交通本省のプレスリリースを参照ください。(別添)

また、3/28(月)に神戸において、証書交付式報告会を開催予定です。(詳細は別途発表予定)

注1: 藻場の保全活動等を行うNPO・市民団体等により創出されたCO<sub>2</sub>吸収量をクレジットとし、CO<sub>2</sub>削減を図る企業・団体等との間でクレジット取引を行うこと。

注2: JBEから独立した第三者委員会による審査・検証を経て、JBEが認証・発行し、管理する独自のクレジットのこと。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、神戸経済記者クラブ、港湾新聞社、マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

<問合せ先>

国土交通省近畿地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課 課長 久保 富広 (くぼ とみひろ)  
課長補佐 宇野 健司 (うの けんじ)

TEL: 078-391-3103

## ■プロジェクトの概要

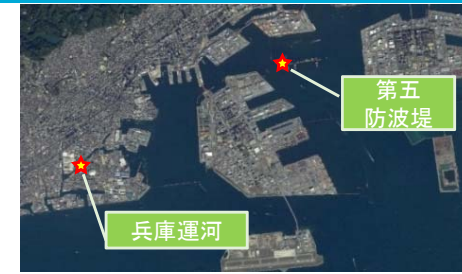
兵庫県神戸市兵庫区に位置する兵庫運河について、水質浄化や藻場の造成、周辺環境美化活動について取り組んでいます。貯木場跡地付近にて、近畿地方整備局・神戸市のそれぞれで造成された2つの干潟での活動について、令和3年12月にJブルークレジット申請を行いました。

- あつまれ生き物の浜
- きらきらビーチ

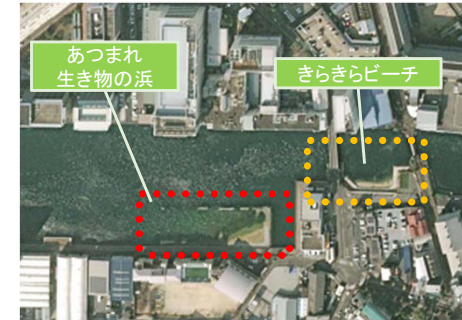
- 対象 : アオサ・ジュズモ・アマモ・干潟
- 申請者 : 兵庫漁業協同組合、兵庫運河を美しくする会  
神戸市立浜山小学校、兵庫・水辺ネットワーク
- Jブルークレジットの申請量 : 1.9 t-CO<sub>2</sub>
- 総販売量 : 1.1 t-CO<sub>2</sub> (申請量1.9t-CO<sub>2</sub>のうち、審査認証委員会での審議を経て、活動量・吸収係数の不確実性に伴う認証率を乗じたもの)

### 【プロジェクトの特徴・PRポイント】

- 第五防波堤撤去工事からの発生材(石材、土砂)を流用して、兵庫運河に干潟(あつまれ生き物の浜)を創出しました。
- 磯場・砂場・タイドプールなど、地元小学校が環境学習の場として利用しています。
- 干潟へのアマモの播種や移植などの活動を行っています。
- 漁業関係者や大学生が協力し、干潟の有する水質浄化やCO<sub>2</sub>固定能力の調査を行っています。



兵庫運河の位置



兵庫運河



小学生への干潟お披露目会



アマモの繁茂



令和4年3月15日  
港湾局海洋・環境課

脱炭素社会の実現に向けたブルーカーボン・オフセット・クレジット制度の試行について  
～Jブルークレジット証書交付式の開催について～

国土交通省では、脱炭素社会の実現に向けて、国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、「カーボンニュートラルポート（CNP）」の形成に取り組んでおり、その一環として、CO<sub>2</sub>吸収源であるブルーカーボン生態系を活用した港湾・沿岸域における環境価値の創出に関する検討を進めています。

今般、横浜港、神戸港、徳山下松港及び北九州港において、NPO等が藻場や干潟の保全活動により創出したCO<sub>2</sub>吸収量について、企業等との間で試行的にクレジット取引されることとなり、その証書交付式（Jブルークレジット証書交付式）が開催されます。

沿岸域の藻場等に生息する海洋植物にCO<sub>2</sub>として取り込まれた炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、国連環境計画の報告書（2009年）において、CO<sub>2</sub>吸収源の新たな選択肢として提示されています。

ブルーカーボン生態系の活用を図るためには、SDGs等に取り組む企業からの関心呼び込み、NPO・市民団体等による藻場の保全活動（例：アマモの移植）等を支援する新たな資金メカニズムの構築が必要であり、現在、ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度<sup>注1</sup>の構築に向けた試行を行っています。

今般、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（JBE）を通じて、横浜港、神戸港、徳山下松港及び北九州港において、NPO等が藻場や干潟の保全活動により創出したCO<sub>2</sub>吸収量について、第三者委員会による審査・検証を経て、企業等との間でクレジット取引（北九州港はクレジット発行のみ）されることとなり、JBE主催のJブルークレジット<sup>注2</sup>証書交付式が下記のとおり開催されます。

注1：藻場の保全活動等を行うNPO・市民団体等により創出されたCO<sub>2</sub>吸収量をクレジットとし、CO<sub>2</sub>削減を図る企業・団体等との間でクレジット取引を行うこと。

注2：JBEから独立した第三者委員会による審査・検証を経て、JBEが認証・発行し、管理する独自のクレジットのこと。

記

1. 日 時 : 令和4年3月18日（金）10:00～12:00
2. 場 所 : 笹川平和財団ビル 国際会議場（東京都港区虎ノ門1-15-16） ※WEB併用
3. 概 要 : Jブルークレジット発行証書及びJブルークレジット購入証書の手交  
NPO等（クレジット創出者）及び企業等（クレジット購入者）の取組紹介
4. 添付資料 : 本制度の試行の詳細については、添付資料を参照

取材を希望される方は、3月16日（水）17時までに、下記担当者あて、メールにてご連絡下さい。

【お問合せ先】

国土交通省 港湾局 海洋・環境課 渡邊、栗田

電話：03-5253-8111（内線46654、46682）、03-5253-8685（直通）

メールアドレス：[watanabe-h22i@mlit.go.jp](mailto:watanabe-h22i@mlit.go.jp)、[kurita-k89ff@mlit.go.jp](mailto:kurita-k89ff@mlit.go.jp)